

からだのしくみを知ろう。

からだの仕組みと組合員健診の大切さ
連載その3

臨床検査技師 甲斐 美矢子

身体は、水（血液やリンパ液）・酸素・食べ物、全部がバランスよく保たれていることが生き生きと暮らすことにつながるというのが、前回までのお話でしたね。では、血液やリンパ液はどのような働きをしているのでしょうか。血液は身体中をめぐり、酸素や栄養分を運び老廃物をうけとっています。リンパ液は、細胞へ栄養を運んだり、細菌やウィルスなどを除去する働きをしています。

血液の中には多くの物質が含まれています。血液検査により、バランスが保たれているかどうか知ることができます。リンパ液は、うまく吸収されないと、むくみとなってあらわれます。

血液やリンパ液が、バランス良く保たれているかどうか、健康の大きな鍵となっているのです。

自分の健康状態をよく知るためにも、血液検査が役に立つということですね。

